



平成30年4月26日

各位

会社名 日本海洋掘削株式会社
 代表者名 代表取締役社長 市川 祐一郎
 (コード番号: 1606 東証第一部)
 問合せ先 広報・IR室長 風間 直毅
 (TEL. 03-5847-5862)

特別損失等の計上及び通期連結業績予想の修正並びに役員報酬の追加減額に関するお知らせ

当社は、平成30年3月期において、特別損失等を計上する見込みとなりました。これに伴い、平成30年4月26日開催の取締役会において、平成29年5月11日に公表いたしました平成30年3月期通期連結業績予想を修正すること、及び本業績予想の修正を受けて、役員報酬の追加減額を実施することを決議しましたのでお知らせいたします。

また、連結業績予想の修正の結果、平成30年3月期末において、誠に遺憾ながら、当社グループは債務超過になる見込みであることも併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失等の計上について

当社グループが運用しております海洋掘削リグの一部については、減損の兆候が認められ検討した結果、一部運用リグ（「SAGADRIL-1」、「SAGADRIL-2」、「HAKURYU-12」、「HAKURYU-14」）等の固定資産につき減損損失151億89百万円を、現在建造中の「HAKURYU-15」については、建造プロジェクト損失引当金繰入額171億1百万円を特別損失に、またリース契約にて運用しているリグ（「HAKURYU-12」）につきリース契約損失引当金繰入額51億61百万円を売上原価に計上する見通しです。

2. 通期連結業績予想の修正について

(1) 修正の内容

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,385	△6,841	△7,555	△8,592	△477.39
今回修正予想(B)	20,272	△11,397	△12,006	△45,410	△2,522.79
増減額(B-A)	△1,113	△4,556	△4,451	△36,817	
増減率 (%)	△5.2	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	15,376	△11,063	△11,516	△23,053	△1,280.76

(2) 修正の理由

上記1のとおり、特別損失等を計上する見通しとなりましたため、平成30年3月期の通期連結業績予想を修正いたします。

今後回復が期待される海洋掘削市場において、当社は当該減損処理等の実施による平成31年3月期以降のコストダウンを、競争力・収益力の早期改善につなげてまいります。

(3) 債務超過について

当社は、平成30年3月期末の連結貸借対照表において債務超過になる見込みであります。

3. 役員報酬の追加減額について

当社は、今般の業績予想の下方修正を真摯に受け止め、その経営上の責任を明確にするため、以下のとおり役員報酬の減額幅を拡大することといたしましたのでお知らせいたします。

また、常勤監査役より監査役報酬の一部を追加して自主返上する旨の申し入れがありましたので、併せてお知らせいたします。

(1) 役員報酬の追加減額内容

代表取締役	2名	月額報酬の55%	(従前開示の減額幅 35%*)
常勤取締役	5名	月額報酬の50%	(従前開示の減額幅 30%*)
執行役員	6名	月額報酬の45%	(従前開示の減額幅 25%*)
常勤監査役	1名	月額報酬の45%	(従前開示の減額幅 25%*)

*平成29年2月7日付「剰余金の配当（無配）の決定及び役員報酬減額の見直しに関するお知らせ」

(2) 対象期間

平成30年5月から当分の間

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上